

2020年5月治験審査委員会

【会議の記録の概要】

| | |
|--------------------|---|
| 開催日時 | 2020年05月27日 14時00分～14時40分 |
| 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 3階 第3会議室 |
| 出席委員 | 寺田 智祐、大路 正人、漆谷 真、河内 明宏、中川 義久、小島 秀人、茶野 徳宏、河上 圭代、小島 隆次、吉野 孝博、赤路 眞佐子、平山 佳伸、谷上 亜紀、舟橋 和夫 |
| 欠席委員 | 谷 眞至 |
| 議題及び審議結果を含む主な議論の概要 | <p>【審議事項】</p> <p>議題1. サンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の局面型皮疹を有する乾癬（尋常性乾癬及び関節症性乾癬を含む）患者を対象としたTildrakizumab (SCH 900222/MK-3222) 皮下投与の有効性及び安全性／忍容性を評価する64週間、無作為化、プラセボ対照、並行群間、第III相／第IV相試験、及び長期安全性延長試験（整理番号：20-03）試験実施計画書等に基づき試験の妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題2. 武田薬品工業株式会社の依頼によるVedolizumab 皮下注製剤の非盲検長期継続投与試験（第3b相試験）（整理番号：15-11） 治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題3. 武田薬品工業株式会社の依頼によるVedolizumab 皮下注製剤の非盲検長期継続投与試験（第3b相試験）（整理番号：15-11） COVID-19対応計画に関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題4. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの第Ⅲ相試験（整理番号：17-01） 治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題5. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験（整理番号：17-02） 治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題6. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの第Ⅱ/Ⅲ相試験（整理番号：17-03） 治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題7. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験（整理番号：17-04）</p> |

治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題8. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相導入療法試験（FIGARO UC 301）（整理番号：18-06）
治験実施計画書及び説明・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題9. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相維持療法試験（FIGARO UC 303）（整理番号：18-07）
治験実施計画書及び説明・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題10. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎又はクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相継続投与試験（AIDA）（整理番号：18-08）
治験実施計画書及び説明・同意文書の変更及びSitePad及びLogPadの資料追加に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題11. アツヴィ合同会社の依頼によるM16-067 試験又はM16-065 試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：18-10）
治験薬割付システムエラーに関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題12. マイランEPD合同会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としてMYL-1701P（M710）の有効性及び安全性をEylea®と比較評価する多施設共同無作為化二重遮蔽実薬対照試験（整理番号：18-11）
治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題13. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるBMS-986165の第Ⅱ相試験（整理番号：18-13）
COVID-19に関する各種レターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題14. 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングの依頼による変形性膝関節症を対象とする自家培養軟骨ACG-01のヒアルロン酸ナトリウム製剤による関節内注射治療との多施設共同並行群間比較試験（整理番号：19-01）
治験実施計画書及び説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題15. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相導入療法試験（CARMEN CD 305）（整理番号：19-04）
治験実施計画書及び説明・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題16. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相維持療法試験（CARMEN CD 307）（整理番号：19-05）

治験実施計画書及び説明・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題17. セルジーン株式会社の依頼によるA PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：19-06）

COVID-19の感染拡大に伴う指針レターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題18. セルジーン株式会社の依頼によるA PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：19-06）

COVID-19の感染拡大に伴う指針レターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題19. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による掌蹠膿疱症（PPP）患者を対象としたBI 655130の第Ⅱ相試験（整理番号：19-08）

臨床試験の実施に関する重要な情報レターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題20. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるUCを対象としたBMS-986165の第Ⅱ相試験（整理番号：19-09）

COVID-19に関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題21. エーザイ株式会社の依頼による早期アルツハイマー病患者を対象としたBAN2401の第Ⅲ相試験（整理番号：19-10）

治験実施計画書及び同意説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題22. バイエル薬品株式会社の依頼による未熟児網膜症患者（ROP）を対象としたアフリベルセプトの硝子体内（IVT）投与による有効性、安全性及び忍容性について、網膜光凝固術を対照に検討する非遮蔽、無作為化、2群比較試験（整理番号：19-11）

治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題23. 株式会社ヘリオスの依頼による急性呼吸窮迫症候群（ARDS）患者を対象としたHLCM051（MultiStem®）の第Ⅱ相試験（整理番号：19-12）

治験実施計画書及び説明文書と同意文書の変更、並びに、コホート追加報告レターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題24. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14）

新型コロナウイルス感染症による治験への影響に関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題25. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14）

臨床検査手順の変更に関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題26. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14）

生化学検査の検体の冷凍発送に関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題27. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14）

新規同意及びスクリーニングに関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題28. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14）

臨床検査中央測定に関するレターの発行に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題29. 【医師主導治験】寺本 晃治による 完全切除された非小細胞肺癌に対する術後補助化学療法後のS-588410によるペプチドワクチン維持療法の第2相試験（整理番号：I16-1）

治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題30. 【医師主導治験】漆谷 真によるE2007（perampanel）の孤発性筋萎縮性側索硬化症を対象とした第Ⅱ相試験、医師主導治験（整理番号：I17-1）

モニタリングの実施に関する標準業務手順書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題31. サンファーマ株式会社の依頼による「乾癬患者を対象としたMK-3222の第Ⅲ相試験」（整理番号：13-09）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題32. サンファーマ株式会社の依頼による「乾癬患者を対象としたMK-3222の第Ⅲ相試験」（整理番号：13-09）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題33. 武田薬品工業株式会社の依頼によるVedolizumab 皮下注剤の

- 非盲検長期継続投与試験（第3b相試験）
（整理番号：15-11）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題34. 武田薬品工業株式会社の依頼によるVedolizumab 皮下注製剤の非盲検長期継続投与試験（第3b相試験）
（整理番号：15-11）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題35. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの第Ⅲ相試験（整理番号：17-01）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題36. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験（整理番号：17-02）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題37. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの第Ⅱ/Ⅲ相試験（整理番号：17-03）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題38. ギリアド・サイエンズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験（整理番号：17-04）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題39. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（整理番号：17-20）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題40. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-006 試験又はM15-991 試験の導入療法で改善した；若しくはM15-989 試験を完了したクローン病患者を対象として、risankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：17-21）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題41. 協和キリン株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl) の第Ⅲ相試験（整理番号：18-01）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題42. 日本イーライリリー株式会社の依頼による乾癬患者を対象とし

たLY3074828の第Ⅲ相試験（整理番号：18-02）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題43. 日本イーライリリー株式会社の依頼による乾癬患者を対象としたLY3074828の第Ⅲ相試験（整理番号：18-02）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題44. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による（原題）A Phase 2/3, Randomized, Double-blind, Placebo- and Active-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Moderately to Severely Active Crohn's Disease

（邦題）中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第II/III相，ランダム化，二重盲検，プラセボ及び実薬対照，並行群間比較，多施設共同試験（整理番号：18-03）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題45. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による（原題）A Phase 2/3, Randomized, Double-blind, Placebo- and Active-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Moderately to Severely Active Crohn's Disease

（邦題）中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第II/III相，ランダム化，二重盲検，プラセボ及び実薬対照，並行群間比較，多施設共同試験（整理番号：18-03）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題46. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相導入療法試験（FIGARO UC 301）（整理番号：18-06）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題47. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相維持療法試験（FIGARO UC 303）（整理番号：18-07）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題48. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎又はクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相継続投与試験（AIDA）（整理番号：18-08）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題49. アツヴィ合同会社の依頼による生物学的製剤が奏効しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対

照導入療法試験（整理番号：18-09）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題50. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-067 試験又はM16-065 試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（整理番号：18-10）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題51. マイランEPD合同会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としてMYL-1701P（M710）の有効性及び安全性をEylea®と比較評価する多施設共同無作為化二重遮蔽実薬対照試験（整理番号：18-11）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題52. 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたFARICIMAB（R06867461）の第III相試験（整理番号：18-12）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題53. 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたFARICIMAB（R06867461）の第III相試験（整理番号：18-12）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題54. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるBMS-986165の第II相試験（整理番号：18-13）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題55. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるBMS-986165の第II相試験（整理番号：18-13）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題56. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるBMS-986165の第II相試験（整理番号：18-13）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題57. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたFaricimabの第III相試験（整理番号：19-02）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題58. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたFaricimabの第III相試験（整理番号：19-02）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認

議題59. パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼による慢性腎臓病患者を対象とした心・腎アウトカムを評価する、エンパグリフロジン1日1回投与に関する国際多施設共同、無作為化、並行群間、二重盲検、プラセボ対照比較臨床試験（整理番号：19-03）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題60. パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼による慢性腎臓病患者を対象とした心・腎アウトカムを評価する、エンパグリフロジン1日1回投与に関する国際多施設共同、無作為化、並行群間、二重盲検、プラセボ対照比較臨床試験（整理番号：19-03）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題61. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相導入療法試験（CARMEN CD 305）（整理番号：19-04）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題62. 株式会社新日本科学PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象としたSHP647の第Ⅲ相維持療法試験（CARMEN CD 307）（整理番号：19-05）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題63. セルジーン株式会社の依頼によるA PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：19-06）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題64. セルジーン株式会社の依頼によるA PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験（整理番号：19-06）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題65. 日本イーライリリー株式会社の依頼による乾癬を対象としたLY3074828の第Ⅲ相長期継続試験（整理番号：19-07）

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題66. 日本イーライリリー株式会社の依頼による乾癬を対象とした

- LY3074828の第Ⅲ相長期継続試験（整理番号：19-07）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題67. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による掌蹠膿疱症（PPP）患者を対象としたBI 655130の第Ⅱ相試験（整理番号：19-08）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題68. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による掌蹠膿疱症（PPP）患者を対象としたBI 655130の第Ⅱ相試験（整理番号：19-08）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題69. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるUCを対象としたBMS-986165の第Ⅱ相試験（整理番号：19-09）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題70. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるUCを対象としたBMS-986165の第Ⅱ相試験（整理番号：19-09）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題71. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるUCを対象としたBMS-986165の第Ⅱ相試験（整理番号：19-09）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題72. バイエル薬品株式会社の依頼による未熟児網膜症患者（ROP）を対象としたアフリベルセプトの硝子体内（IVT）投与による有効性、安全性及び忍容性について、網膜光凝固術を対照に検討する非遮蔽、無作為化、2群比較試験（整理番号：19-11）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題73. バイエル薬品株式会社の依頼による未熟児網膜症患者（ROP）を対象としたアフリベルセプトの硝子体内（IVT）投与による有効性、安全性及び忍容性について、網膜光凝固術を対照に検討する非遮蔽、無作為化、2群比較試験（整理番号：19-11）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題74. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14）
安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審査結果：承認
- 議題75. 【医師主導治験】漆谷 真によるE2007（perampanel）の孤発性筋萎縮性側索硬化症を対象とした第Ⅱ相試験、医師主導治験（整理番

号：I17-1)

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題76. 【医師主導治験】坂井 智行による 小児期発症のネフローゼ症候群に対する IDEC-C2B8 の多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化並行群間比較試験 (整理番号：I18-1)

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題77. 【医師主導治験】坂井 智行による 小児期発症難治性ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群を対象とした IDEC-C2B8 とステロイドパルス療法の併用療法の多施設共同単群臨床試験 (整理番号：I18-2)

安全性情報について医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題78. 【医師主導治験】漆谷 真による 高用量E0302の筋萎縮性側索硬化症に対する第Ⅲ相試験-医師主導治験- (整理番号：I17-3)

当院で発生した重篤な有害事象報告 (第3報) について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題79. 【医師主導治験】漆谷 真による 高用量E0302の筋萎縮性側索硬化症に対する第Ⅲ相試験-医師主導治験- (整理番号：I17-3)

当院で発生した重篤な有害事象報告 (第1報) について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題80. アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験 (整理番号：17-20)

治験期間が1年を経過するため、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題81. アッヴィ合同会社の依頼によるM16-006 試験又はM15-991 試験の導入療法で改善した；若しくはM15-989 試験を完了したクローン病患者を対象として、risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験 (整理番号：17-21)

治験期間が1年を経過するため、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題82. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象とした Faricimab の第Ⅲ相試験 (整理番号：19-02)

治験期間が1年を経過するため、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題83. 【医師主導治験】坂井 智行による 小児期発症のネフローゼ症候群に対する IDEC-C2B8 の多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化並行群間比較試験 (整理番号：I18-1)

モニタリング報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

| | |
|------|--|
| | <p>議題84. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14） 緊急の危険を回避するための治験実施計画書からの逸脱に関する報告書について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題85. 田辺三菱製薬株式会社の依頼によるALS対象の第Ⅲ相試験1（整理番号：19-14） 緊急の危険を回避するための治験実施計画書からの逸脱に関する報告書について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>【報告事項】 18-10 逸脱（緊急の危険回避の場合を除く）について報告された。 19-06 逸脱（緊急の危険回避の場合を除く）について報告された。 19-07 逸脱（緊急の危険回避の場合を除く）について報告された。 19-10 逸脱（緊急の危険回避の場合を除く）について報告された。 19-14 逸脱（緊急の危険回避の場合を除く）について報告された。 118-1 逸脱（緊急の危険回避の場合を除く）について報告された。</p> <p>【その他】 新規製造販売後調査について審議した。 議題 1. 腰椎椎間板ヘルニア患者を対象としたヘルニコア®椎間板注用1.25単位一般使用成績調査（整理番号：S20-01） 実施要綱に基づき、製造販売後調査実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題 2. 腰椎椎間板ヘルニア患者を対象としたヘルニコア®椎間板注用1.25単位の特定制成績調査（整理番号：S20-02） 実施要綱に基づき、製造販売後調査実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> |
| 特記事項 | |